

・・・新刊本紹介・・・

請求記号	本の名前	書いた人	出版社
049-7	#アホ男子母死亡かるた	#アホ男子母死亡かるた書籍化プロジェクト@ahodanshi88	アスペクト
140-サ	本当の「私」がわかる自分の心理学 スッキリわかる!	斉藤勇	ナツメ社
289-7	里山を食いものにしよう 原価0円の暮らし	和田芳治	阪急コミュニケーションズ
290-コ	10万円あれば行けちゃう!世界の絶景100	小林克己	PHP研究所
304-マ	テキサス親父の大正論	トニー・マラーノ	徳間書店
319-マ	アジア親日の履歴書	丸山ゴンザレス	辰巳出版
369-コ	声に出して楽しむ落語 シニアのための滑舌体操	グループこんぺいと	黎明書房
451-キ	気象・天気の新事実 ビジュアル版	木村竜治	新星出版社
453-モ	お風呂と脳のいい話	茂木健一郎 山崎まゆみ	東京書籍
493-シ	食物アレルギーのすべてがわかる本 イラスト版	海老沢ノ元宏	講談社
494-7	1日10分!足の悩みは自分で治せる	福田ノ千晶	実業之日本社
507-ハ	ロボコン イケてない僕らのイカした特別授業	ニール・パスコム	集英社
519-ノ	世界遺産にされて富士山は泣いている	野口健	PHP研究所
590-イ	イギリス流捨てない暮らし	井形慶子	KADOKAWA
592-モ	森泉流手づくり雑貨MY“DIY”BOOK	森泉	宝島社
593-テ	手ぬいでちょこっと洋服お直し	鶴岡睦子	産業編集センター
596-オ	ちゃ・ちゃ・ちゃで美味しい!海ごはん カンタン釣魚料理	大川直	海悠出版
596-カ	僕のピアガーデンにようこそ	笠原将弘	光文社
615-ス	図解でよくわかる農業のきほん	寺岡徹	誠実堂新光社
617-オ	育てて楽しむオリーブの本 決定版	岡井路子	主婦の友インフォス情報社
627-イ	つくる・育てる・飾る!超ミニ盆栽	岩井輝紀	ブティック社
664-ツ	ウナギと日本人 “白いダイヤ”のむかしと今	筒井功	河出書房新社
666-ト	爬虫両生類の上手な飼い方	富水明	エムピージェー
725-7	パンパステルではじめる!ふんわりやさしいパステル画	船本清司 船本礼子	マール社
750-オ	親子で作る!自然素材のかんたん雑貨&おもちゃ	光橋翠 まちとこ	日東書院本社
783-ハ	プロ野球12球団ファンクラブ全部に10年間入会してみた!	長谷川晶一	集英社
910-ム	村岡花子の世界 赤毛のアンとともに生きて	村岡恵理 内田静枝	河出書房新社
916-ヒ	なかったことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白	東小雪	講談社
933-ハ	かもめのジョナサン	リチャード・バック	新潮社
933-テ1	忘却の声 上・下	アリス・ラプラント	東京創元社
B312-マ	99%対1%アメリカ格差ウォーズ	町山智浩	講談社
F-イ	やや暴力的に	石原慎太郎	文芸春秋
F-イ	憎悪のパレード	石田衣良	文芸春秋
F-イ	野望の憑依者(よしまし)	伊東潤	徳間書店
F-カ	沙羅沙羅越え	風野真知雄	KADOKAWA
F-カ	アクアマリンの神殿	海堂尊	KADOKAWA
F-コ	胡蝶殺し	近藤史恵	小学館
F-サ	まるまるの毬	西条奈加	講談社
F-サ	失踪都市 所轄魂	笹本稜平	徳間書店
F-シ	すべての神様の十月	小路幸也	PHP研究所
F-シ	アンダーカバー 秘密調査	真保裕一	小学館
F-タ	勁草の人 戦後日本を築いた財界人	高杉良	文芸春秋
F-ヒ	許されざるもの	樋口明雄	光文社
F-ミ	推定脅威	未須本有生	文芸春秋
F-ミ	山女日記	湊かなえ	幻冬舎
F-モ	棟居刑事の永遠(とわ)の狩人	森村誠一	双葉社
F-ヤ	ナイト&シャドウ	柳広司	講談社
F-ヤ	つばき	山本一力	光文社
F-ヨ	吾輩ハ猫ニナル	横山悠太	講談社
LF-ヤ1	彦左衛門外記 上・下	山本周五郎	埼玉福祉会
S210-7	図説竹島=独島問題の解決	久保井規夫	柘植書房新社
S748-ウ	松江 復刻版	植田正治 漢東種一郎	山陰放送

紹介しているのは7月に入った新刊の一部です。他にもたくさん入りましたのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

隠岐の島町図書館通信

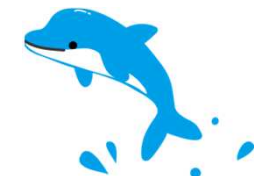


読まんかね

隠岐の島町図書館

2014.8 Vol.111

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二 17-1
tel: 08512-2-2341 fax: 08512-2-9198
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshokan/
e-mail: s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・・・山東村伝の語りとおき民話を語る会・・・

図書館で民話を語る会を開催します。全国各地でお話を語る活動をされている山東村伝(さんどう そんでん)さんを横浜からお迎えし、おき民話の会の会員と共に民話を語っていただきます。
どこか懐かしいお話を、どうぞ聞きにいらしてください。

日時 8月23日(土) 14時~15時
場所 隠岐の島町図書館 研修室



・・・語り継がれる民話 特集・・・



「語り継がれる民話 ~世界、日本、そして隠岐のお話~」と題して、世界から日本の民話の本を特集しています。

世界各地の笑える話や、怖い話、へんてこなお話など、絵本や語りの本をそろえました。

もちろん、隠岐で語られてきた懐かしい民話もあります。昔どこかで聞いたお話をもう一度読んでみませんか?夏の夜、子どもや孫に語ってあげるのもいいですね。



夏休み限定企画

・・・ウルトラ読書マラソン開催中！・・・

おきしま 読書マラソン!



図書館で「隠岐の島ウルトラ読書マラソン」を開催中です。本を読んで隠岐を一周しましょう！
カードはカウンターに置いています。

本を読んで
スタンプを
押そう！

やりかた

- ① 本を読む
- ② マラソンカードの裏に、読んだ本の名まえを書く
- ③ 図書館へ持って行ってスタンプを押してもらう
- ④ 2冊読んだらゴール！
- ⑤ 気に入った本の「推し本カード」を書いて図書館へ！

隠岐アゴラで、ビブリオバトル！！

隠岐アゴラではビブリオバトルを開催しています。ビブリオバトルとは、参加者が本の魅力を紹介しあう書評ゲームです。本が好きな方、イベント好きな方、ぜひご参加ください。毎月第2土曜日に行っています。

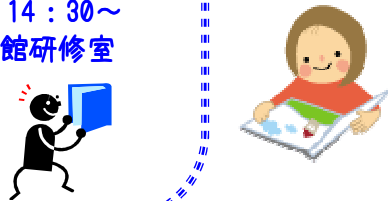
7月のテーマは「海」でした。

紹介された本は...

- 『ことばと思考』今井むつみ／著 岩波書店
- 『老人と海』ヘミングウェイ／著 新潮社
- 『三陸海岸大津波』吉村昭／著 文芸春秋

次回は

9月13日(土) 14:30～
隠岐の島町図書館研修室



開館日カレンダー

色の日は休館日

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

定例行事

- はじめてのえほん
毎週日曜日 10:30～
- おはなしのへや
毎週土曜日 15:00～
- ブックトークの会
8月 2日(土)14:00～
9月 6日(土)14:00～

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

★展示コーナー

《 暮らしの中のキルト展 》

「パッチワークキルト・絆」の皆さんによる作品展を行っています。ぜひご覧ください。

期間：7月21日～8月31日

場所：図書館展示コーナー



★特集コーナー

《 旅に出よう 》



夏は旅行シーズンですが、本の世界でも旅を楽しんでみませんか？

★えほんコーナー

《 ともだち 》

一緒に遊んで、ケンカして、仲直り。そんな大好きなともだちの絵本、みてみよう！



・・・7月の利用状況報告・・・

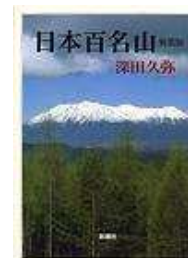
	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
26年度	5,724	1,402	6,679	40
25年度	5,481	1,514	7,295	16
比較	243	▲112	▲616	24

・・・7月によく読まれた本ベスト10・・・

- | | | |
|-----------------------------|-------|-----------------|
| 1位 家族の悪知恵 | 西原理恵子 | 文芸春秋 |
| 1位 胡蝶殺し | 近藤史恵 | 小学館 |
| 1位 その「不調」、あなたの好きな食べ物が原因だった？ | 沢登雅一 | ディスカバー・トゥエンティワン |
| 4位 沙羅沙羅越え | 風野真知雄 | KADOKAWA |
| 4位 まるまるの毬 | 西条奈加 | 講談社 |
| 4位 推定脅威 | 三須本有生 | 文芸春秋 |
| 4位 雲のすべてがわかる本 | 武田康男 | 成美堂出版 |
| 4位 なかったことにしたくない | 東小雪 | 講談社 |
| 4位 本当の「私」がわかる自分の心理学 | 斎藤勇 | ナツメ社 |
| 4位 あなたの声に応えたい | 阿川大樹 | 小学館 |

・・・図書館職員オススメの一冊・・・

『日本百名山』 深田久弥／著 新潮社



今、本格的な夏山シーズン真っ最中。島で生活する私たちにとって、日本アルプスのような高い峰々は遠い世界ながらも、地図と時刻表を傍らに机上登山は可能。BS放送では何局かが「百名山」を継続的に放映中でもあり、私はかつて足跡を残した頂やまだ踏めないはらかな頂に思いを寄せながら楽しんでいる。

全国に〇〇百選のタイトルがつく対象分野がどれ程あるのかは定かではないが、本書は筆者が実際に登行した全国の山の中から選んだ百名山が紹介されている。選定基準としては①品格、②歴史、③個性を揚げ、付加的条件として1500m以上の高さを求めているが、どんな山が紹介されているのかは本書を読んでから。

山を志す者にとっては誰もが一度は憧れるであろう「百名山」。中高年と山ガールが主流の登山ブームとのことだが、平成28年度から「山の日」が祝日の仲間入り。ブームにさらなる拍車がかかり、これからもこの本は永く読み継がれていくことだろう。

(7月26日付朝日新聞「天声人語」でもこの本が紹介されてますが、この原稿はそれ以前に書いたものです)

今月は佐々木が
紹介します！